

自由民主党 新 政 会
鹿児島市議会議員 川越桂路
〒892-8677 鹿児島市山下町11-1
TEL216-1436 FAX227-7955
〒892-0846 鹿児島市加治屋町6-8
www.kawagoe-keiji.jp
E-mail : info@kawagoe-keiji.jp

市議会報告

川越けいじの政治目標

- 子育て支援策の更なる拡充
- 社会福祉の充実した街づくり
- 救命救急体制の整った街づくり
- 犯罪の無い安全な街づくり
- 活力と優しさに満ちた街づくり
- 豊かな心と健全な身体を育くむ教育

一般会計予算は2,670億3,300万円

安心安全対策や子育て支援など過去最高額を更新する積極予算

- **火山防災トップシティ 関連事業**
(3千7百万円)
過去最高額を更新する積極予算となり、以下、一般会計予算における主な事業及びその予算額(百万単位表記)等について、その概要を説明致します。
(全体予算の一部事業の紹介です)
- **安心安全**



市議会議員 川越けいじ(47)

- **避難行動 理解促進事業**
(8百万円)
災害リスクや市民

- **子育て支援**
(4億5千万円)
国が決定した幼児教育の無償化に伴い、保育施設(保育サージャス)を利用する子育て世代の負担軽減を図ります。



運用中のドクターカー

- **放課後 児童健全育成事業**
(1億9千万円)
昼間保護者のいない小学生に対し、適切な遊びと生活の場を提供するとともに、更なる施設整備に取り組みます。今年度は児童クラブを10箇所増設し、児童クラブ数は現在の153箇所から163箇所

- **子ども医療費助成事業**
(14億5千万円)
中学3年生までの保険診療による医療費の一部を、子供の保護者に対し助成します。

- **健康相談事業**
(5億3千4百万円)
妊婦健康診査を公費負担で実施します。

- **商品券事業**
(10億9千万円)
消費税率の引上げが子育て世帯等の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起するため、プレミアム付商品券を販売します。対象は、平成28年4月2日から今年9月30日までの間に生まれた子供のいる家庭の世帯主と、住民税の非課税者。

- **ドクターカー運用事業**
(1億1千8百万円)
救命率の向上、後遺障害の軽減など、安心して暮らせる救急医療の確保を図るため、ドクターカーを8時30分から17時15分まで365日行うとともに、引き続き24時間の本格運用の実現に向けて医師の確保に努めます。

- **安全な保育環境 充実事業**
(3千4百万円)
保育士経給等による巡回指導等を実施し、認可外保育施設・保育所等において児童が安全に保育を受けることができる環境の充実を図ります。

- **子ども医療費助成事業**
(14億5千万円)
中学3年生までの保険診療による医療費の一部を、子供の保護者に対し助成します。

- **健康相談事業**
(5億3千4百万円)
妊婦健康診査を公費負担で実施します。

- **商品券事業**
(10億9千万円)
消費税率の引上げが子育て世帯等の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起するため、プレミアム付商品券を販売します。対象は、平成28年4月2日から今年9月30日までの間に生まれた子供のいる家庭の世帯主と、住民税の非課税者。

平成三十一年第一回定例会が、二月十二日から三月二十日までの三十七日間の日程で開催され、平成三十一年度一般会計予算案を始めとする議案100件を各面から審査し議決しましたので、川越桂路がその概要についてご報告致します。

一般会計当初予算は、約2千6百70億3千3百万円と、前年度比6・4%増です。

火山防災トップシティの推進を図るため、島外避難や大量軽石火山灰対応計画の拡充

のとるべき避難行動の理解促進等を図るため、指定緊急避難場所などを周知するための防災リーフレットや液状化マップを作成します。

保育士経給等による巡回指導等を実施し、認可外保育施設・保育所等において児童が安全に保育を受けることができる環境の充実を図ります。

児童虐待対策を強化するとともに、子育て支援の一環として相談しやすい体制の更なる拡充を図るため、児童相談所の設置について基本構想及び基本計画を策定します。

児童虐待対策を強化するとともに、子育て支援の一環として相談しやすい体制の更なる拡充を図るため、児童相談所の設置について基本構想及び基本計画を策定します。

幼児教育無償化や子ども医療費助成など開始 ドクターカーの24時間完全運用まであと一歩

のとるべき避難行動の理解促進等を図るため、指定緊急避難場所などを周知するための防災リーフレットや液状化マップを作成します。

保育士経給等による巡回指導等を実施し、認可外保育施設・保育所等において児童が安全に保育を受けることができる環境の充実を図ります。

児童虐待対策を強化するとともに、子育て支援の一環として相談しやすい体制の更なる拡充を図るため、児童相談所の設置について基本構想及び基本計画を策定します。

児童虐待対策を強化するとともに、子育て支援の一環として相談しやすい体制の更なる拡充を図るため、児童相談所の設置について基本構想及び基本計画を策定します。

児童虐待対策を強化するとともに、子育て支援の一環として相談しやすい体制の更なる拡充を図るため、児童相談所の設置について基本構想及び基本計画を策定します。

■絞り込んだ候補地に対する今後の要望・留意点

「まちとの回遊性」や「鹿児島らしさ」に加え、利用者にとって利便性・快適性の高いスタジアムにするため、次の要望を付すものとする。また、各候補地での検討を進めるに当たっては、地権者の意向を踏まえたと、取り組みを進めていただきたい。※下記のほか、いずれも海岸立地であるため、錦江湾を活かす整備を検討すること。

浜町バス車庫

- ①鹿児島駅からのアプローチの円滑化(動線や幹線道路の横断等)及び天文館等の中心市街地との回遊性について検討すること。
- ②「かんまちあ」や鹿児島港本港区内の他施設との連携を図り、相乗効果を生み出す工夫をすること。

ドルフィンポート

- ①天文館等の中心市街地との回遊性が高まる動線や周辺整備を検討すること。
- ②県のランドデザインとの整合を図り、相乗効果を生み出す工夫をすること。

住吉町15番街区

- ①天文館等の中心市街地との回遊性が高まる動線や周辺整備を検討すること。
- ②敷地が狭隘なため、アプローチ動線や駐車場について、鹿児島港本港区内の他施設との連携策を検討すること。

■サッカー等スタジアムの6か所の候補地に係る調査結果等の整理

「サッカー等スタジアム立地に係る調査」の結果によると、各候補地の利点・課題等は、以下のとおりである。(網掛けの3か所については候補地から除外)



浜町ゴルフ練習場

◎利点

- ・法令等による制限が少ない。
- ・「かんまちあ」と連携できる可能性がある。(アプローチの検討が必要)

◎課題

- ・JR、JR貨物の線路がかかるため、地権者との協議・対応が必要となる。
- ・ゴルフ練習場の移転等に係る関係者への対応が必要となる。
- ・敷地の規模や線路がかかることから複合用途の可能性に難点がある。



浜町バス車庫

◎利点

- ・スタジアムに十分な広さが確保できる。
- ・周囲に一定の空間があるため、滞留スペースの確保が可能である。
- ・「かんまちあ」と連携できる可能性がある。(アプローチの検討が必要)
- ・敷地の特性に合った複合用途を考えることができる。

◎課題

- ・法令等の制限がかかっている。(対応の余地あり。)
- ・バス車庫、森林管理署等の移転等に係る地権者対応が必要となる。



かんまちあ

◎利点

- ・法令等による制限が少ない。
- ・鹿児島駅に至近であり、特にアクセスが良い。

◎課題

- ・「かんまちあ(H28.10供用開始)」を廃止する必要がある。
- ・一部に線路がかかるほか、JR貨物のターミナルの移転が必要である。
- ・周囲に滞留スペースを確保することが困難である。



ドルフィンポート

◎利点

- ・敷地は十分な広さがあり、2020年以降、移転すべき施設がない。
- ・周囲に一定の空間があるため、滞留スペースの確保が可能である。
- ・敷地の特性に合った複合用途を考えることができる。
- ・天文館等の中心市街地との回遊性が期待できる。

◎課題

- ・法令等の制限がかかっている。(対応の余地あり。)
- ・鹿児島県の本港区エリアのランドデザインとの調整が必要である。



住吉町15番街区

◎利点

- ・現状として移転が必要な施設等がない。
- ・天文館等の中心市街地との回遊性が期待できる。
- ・ドルフィンポートエリアと連携できる可能性がある。

◎課題

- ・法令等の制限がかかっている。(対応の余地あり。)
- ・敷地が狭隘であり、埋立て等の検討も必要となる。(可能な整備手法あり)
- ・滞留スペースの確保が困難である。(対応の余地あり。)
- ・鹿児島県の本港区エリアのランドデザインとの調整が必要である。



鹿児島中央駅西口

◎利点

- ・法令等による制限が少ない。
- ・鹿児島中央駅に至近であり、特にアクセスが良い。
- ・駅周辺の商業施設等との連携が期待できる。

◎課題

- ・周囲が民間施設に囲まれて、騒音等の周辺環境への対策が必要となる。
- ・周辺道路が狭隘であり、また滞留スペースの確保も困難である。
- ・県の新たな総合体育館の具体的な構想が策定予定である。

※なお、「アクセス」に関しては、各候補地ともに最寄りの駅・電停から徒歩圏内であり、天文館などの中心市街地との連携も十分可能である。

家庭から出されるゴミや資源物をゴミステーションまで運ぶことが困難な高齢者や障害者をお持ちの方々などを対象に、今年度から、ゴミの戸別収集サービスを始めます。

対象者は？

次のいずれかの条件に該当し、かつ、介護保険法または障害者総合支援法に基づき居宅サービスを利用している一人暮らしの方で、自らゴミ等を排出することが困難で、他に協力を得ることができないと認められる方が対象者です。

- 要介護1以上の一人暮らしの方
- 身体障害1級または1級の一人暮らしの方
- 知的障害A判定の一人暮らしの方
- 精神障害1級の一人暮らしの方

前記4つのいずれかの条件に該当する方のみで構成される世帯が対象者となります。ご家族やケアマネージャーさんなどにもご相談されるなどして、先ずは、対象になるかどうかについてお問い合わせください。

市政に対する質問や相談など
お気軽にお寄せください。

鹿児島市政に対する市民の皆さまからの質問や相談を受け付けております。安全・教育・子育て・福祉など、どのような事でも結構ですので、左記TEL・FAX・メールにお寄せください。

市議会議員 川越 けいじ
TEL・2161436 / FAX・2277955
E-mail : info@kawagoe-keiji.jp

申し込みから収集開始までの流れ

- ①お問い合わせ 対象になるかどうかなど、まずはお気軽にお問い合わせください。
- ②申し込み お問い合わせいただいた方に、申請書を送付します。
- ③書類審査 該当要件の確認を行います。
- ④現地調査 日時を調整の上、担当職員がお伺いして、排出場所などの確認をします。
- ⑤決定 現地調査などで問題がない場合は実施を決定し、決定通知書をお届けします。
- ⑥収集開始 決定通知に記載されている日から、収集が始まります。

◎お問い合わせ
清掃事務所
☎238-0201
南部清掃工場
☎261-5588

「まごころ収集」のイメージ



